

テーマ：北方領土（実践校）

オホーツク管内 湧別町立湧別小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北海道に対する愛着や誇りを育むため、北方領土に関する映像資料や、千島歯舞諸島居住者連盟オホーツク支部主催によるパネル展を見学し、児童一人一人が抱いた思いや願いを交流したり、発表したりする活動など、北方領土について探究的に学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

前年度の学習を踏まえ、北方領土について、社会科の授業や映画「ジョバンニの島」を視聴するとともに、地元で開催された「北方領土の今と昔パネル展」等を見学し、一人一人の思いや願いを、校内、保護者や地域に向けて発表するという課題を設定しました。



【映画「ジョバンニの島」視聴の様子】

(2) 情報の収集

映画「ジョバンニの島」を視聴して、「家族を引き裂く戦争ほど残酷で悲惨なことはない」ということを学びました。その後の社会科の授業では、複数の資料や ICT 機器を用いて調べたことを関連付けながら吟味、精査を行い、北方領土には多様な問題が存在していることに気付きました。



【一人一人が思いや願いを語る様子】

(3) 整理・分析

調べたことを整理・分析し、児童は「日本とロシアの国民が互いに理解を深めていく心が大切であり、北方領土問題をいつまでも忘れてはならない」と、自分の思いに気付きました。

(4) まとめ・表現

絵や文章等でポスターにまとめ、校内に掲示するとともに、一人一人が学び、感じたことを真剣に語り合い、保護者や地域に向けて発信しました。



【学んだことをまとめたポスター】

②児童の感想等

- ・私は、この北方領土問題をこれからも「忘れない」という心が必要だと思いました。なぜなら、今、住んでいるロシアの子どもにとっても元島民にとっても、大切なふるさとだからです。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土を返還してもらおうという難しい問題に対し、対話を通じて納得解を生み出すことができました。学習後のアンケート調査では、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合は 100% であり、北方領土の歴史等に対する興味・関心を高めるとともに、北海道に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 我が国の領土問題を風化させないためには、一過性のものではなく、計画的に学習に取り組むための学びの環境を充実させていく必要があります。